

# 第二回ヘルスデータサイエンス学会学術集会

## インフォメーション・ダイバーシティ 豊かな多元性から生まれる新しい可能性

日時：2023年12月2日（土）

10時～18時30分

場所：京都大学芝蘭会館

（現地開催）

内容

特別講演：大学におけるデータサイエンス教育の展望

シンポジウム1：本邦におけるマルチモーダルレジストリの展望

シンポジウム2：ヘルスデータサイエンスにおける生成系AIとシミュレーション技術の活用

シンポジウム3：多様なデータにもとづく標的（ターゲット）を定めた統計的推論の最前線



<https://s-hds.org>

お問い合わせ先 | [info@s-hds.org](mailto:info@s-hds.org)

# 第二回ヘルスデータサイエンス学会学術集会

## プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

手良向 聡 (京都府立医科大学)

10:05-11:35 シンポジウム 1

「本邦におけるマルチモーダルレジストリの展望」

・演題 1: マルチモーダルレジストリ総論 山本 景一 (大阪歯科大学)

・演題 2: 最新動向を見据えたデータ活用における実践的なデータマネジメントとガバナンス  
伊藤 幹也 (日本オラクル株式会社)

・演題 3: 共通データモデル (CDM) の意義と OMOP 平松 達雄 (国際医療福祉大学)

・演題 4: レジストリ運用者・研究者から見たマルチモーダルレジストリ：日本救急医学会統合 DB の  
展望 西岡 典宏 (京都大学)

座長 山本 景一 (大阪歯科大学)、佐藤 菊枝 (名古屋大学)

11:35-12:30 ランチ

12:30-13:00 ポスターセッション

13:10-14:10 特別講演

「大学におけるデータサイエンス教育の展望」

竹村 彰通 (滋賀大学 学長)

座長 松山 裕 (東京大学)

14:10-14:55 アフタヌーンセミナー (協賛：日本オラクル株式会社)

・演題 1: クラウド活用による研究の効率化 横山 慎一郎 (ジョージ・アンド・ショーン株式会社)

・演題 2: オラクルの提供する Oracle Cloud Infrastructure (OCI) とその活用事例 松井 雄介  
(日本オラクル株式会社)

座長 河野 健一 (京都大学)

14:55-15:15 休憩 (コーヒブレイク)

15:15-16:45 シンポジウム 2

「ヘルスデータサイエンスにおける生成系 AI とシミュレーション技術の活用」

・演題 1: 総論：なぜヘルスデータサイエンスでマイクロシミュレーションが必要か？  
阪口 昌彦 (大阪電気通信大学)

・演題 2: がん対策へのマイクロシミュレーションの活用 福井 敬祐 (関西大学)

・演題 3: スクリーニングの費用対効果におけるシミュレーション

星野 絵里 (国立成育医療研究センター)

・演題 4: 合成患者データの活用と展望 石原 拓磨 (岐阜大学)

座長 秋谷 一平 (エイツーヘルスケア株式会社)、阪口 昌彦 (大阪電気通信大学)

16:55-18:25 シンポジウム 3

「多様なデータにもとづく標的 (ターゲット) を定めた統計的推論の最前線」

・演題 1: 「標的学習」の考え方と実装 ～因果推論 × 機械学習という異なる手法による観察研究  
データ解析～ 篠崎 智大 (東京理科大学)

・演題 2: 「標的試験エミュレーション」の考え方と実践 ～ COVID-19 レジストリーデータへの  
実践事例～ 上村 夕香理 (国立国際医療研究センター)

・演題 3: 効果の異質性に着目した次世代の個別化  
医療戦略 ～ High Benefit アプローチ～

井上 浩輔 (京都大学)

座長 手良向 聡 (京都府立医科大学)

18:25-18:30 閉会挨拶

山本 景一 (大阪歯科大学)



<https://s-hds.org/>

お問い合わせ先: [info@s-hds.org](mailto:info@s-hds.org)

